

私たちの生活信条

- 1. 国民の祝日には国旗をかかげよう
- 2. 交通規則を正しく守ろう
- 3. 明るく正しい選挙を実現しよう
- 4. 小さな親切を広めよう
- 5. 小さな暴力でも追放しよう
- 6. 定められた時間は必ず守ろう
- 7. 環境の美化につとめよう

ながさ

NAGASU

1 月号
昭和44年1月20日発行
通算 第54号
発行者 長洲町中央公民館
発行人 浮島三代喜
編集者 広報長洲編集部
印刷所 中央印刷紙工KK

人口の動き(12月分)	
出生	21名
死亡	14名
転入	50名
転出	53名
世帯数	3,455
人口	14,941

明治百一年を

長洲町発展のスタートに

長洲町長 中逸光

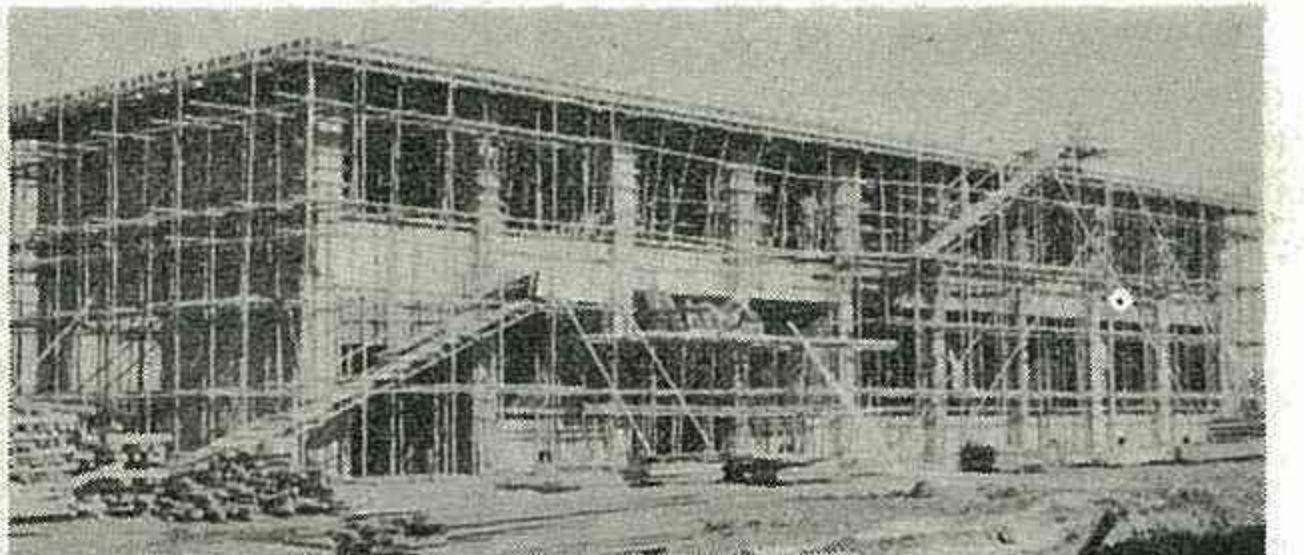


昭和四十四年の希望ある新春を迎え、心から長洲町のみなさんに、新年おめでとうを申し上げます。昨年は日本にとって記念すべき明治百年の年でございました。封建時代の日本から世界の先進国としての近代日本の建設まで、すばらしい発展をしてきました。そして、それは、決して順風満帆の安易な道ではなく、当時の先覚者たちのたゆまざる努力と勤勉と勇気ある行動による



元朝の長洲海岸

長洲町が設置されてからの歴史を、更に、大正四年に街の街に電柱が建てられて、近代生活の基礎づくりがなされた。その間、明治十五年の一一〇戸の大火、明治十七年、二十八年のコレラ病の流行、明治二十年の漁師二二七人とその救援隊七人の遭難等数々の悲しい出来事もありましたが、幾多の変遷と歴史を秘めて、今日の長洲町がつけられました。私たちは、日本の、そして、長洲町の先覚者たちがつくり出した明治百年の成果に立ちつづき、改めて反省すべきものは反省し、正すべき点は正し、よい面はさらにこれを盛りあげ、新たな繁栄を築いていくことを、年頭に当り、長洲町のみなさんと共に、心に期していきたいと思いま



(六栄小改築)

又、昨年は長洲町でも数々のことが成しとげられました。町の職員で年末に調査した町の十大大ニュースを参考にし、あければ、次のようなことがありま

- 一、電話のダイヤル自動化
- 二、六栄小学校改築着工
- 三、堤メリヤス操業
- 四、清里小学校プール完成
- 五、物産館の落成
- 六、不二サシンの長洲進出決定
- 七、腹栄中学校屋内体育館落成
- 八、町道の舗装
- 九、グレイダー購入
- 十、水道の公営企業発足

以上であるが、特に、年末に決定された有明製鉄用地への不二サシンの進出決定は、明治百年の年の記念すべき賜物であつたと思ひます。有明製鉄用地への工場誘致は長洲町の年来の念願であっただけに、不二サシンの進出決定は、長洲町に大きな希望を与えました。不二サシンの本社を川崎市に持つ資本金四十五億七千五

明正選挙は先ず婦人から 棄権をなくそう

明正選挙推進委員 中山しま子

「政治シリーズ」編集員の方々が言われる選挙をよくするために、は民主政治は、国民自らによる政治であり、それを具体的に実現する手段が申すまでもなく選挙であり、この選挙が正しく行なわれなければ、政治は期待すべくありません。にもかかわらず憲法で保障された国民最高の権利である選挙権が、いかに多く無自覚不用意に行使されていることか、そしてそれが生み出す政治の権威の失墜、そしてさらには我が国の民主政治の前途に不安と疑念を生じている」とある。成程と思う。また他方、成程と正しい選挙を行つたために選挙法改正の問題を中心として、選挙浄化を呼びかゝる政治が行なわれる事を期待する」とされてはいる、呼びかける者と呼ばれる者が一体となつて、その本意の明正選挙となるのではないだろうか、そのためには必ず努力が必要である、私の町では今年身近な選挙の年である事は言うまでもなく、今年一度ふりかへて今年度こそは棄権のなきよう正しい選挙をいたそうの合言葉に「婦人をネラえ」という事がある。決していかなる誘惑に負ける事なく先ず明正選挙は婦人から、婦人ではなければならない。あと言われようではありませんか、それして町繁栄のためにつとめられる方を選ぼうではありませんか。

さざなみ

暖冬異変に、新たな年も過ぎ、新しい年を迎え、急に冬の寒気が襲来した。元朝から降り始めた雪は、九州北部や北国を白く染めた。雪景色に染め、正月らしい天候となった。元日の朝配違される部厚い年賀状は、年に一度の旧交を暖めるよすがであり、一人一人の旧友や恩師の顔が懐しく思い出され、楽しいものである。昨年は記念すべき明治百年の年であった。世界的には、アメリカの宇宙船アポロ8号が人類史上初めて月の裏側を廻つてくる快挙を記録し、長洲町では、有明製鉄用地に不二サシンの進出が決つた。不二サシンの本社を川崎市に持つ資本金四十五億円の会社であり、長洲工場は同社の第六番目の工場の予定であるといふ。この新しい企業の進出に伴ない、昭和四十四年の長洲町は新しい町発展のスタートになる。昨年は、国においても、長洲町においても、交通事故の一番多い年であった。長洲町では、昨年は一昨年の二倍にも達する激増の年であり、交通違反者の罰金を本町町民だけで六五〇万円も納めたといふことは重大なことであると思ふ。交通事故は一寸した油断がもとであり、今年は一人も交通違反者や交通事故を起す人を出さないよう年頭に当り、十分お互いに注意したいのである。長洲町の総合社会重点課題の一つに、「家庭の交通安全運動」を決めている。これは、家族ぐるみで安全運動を実践しようといふことであり、家庭の朝食や夕食等の一家団らんの中で、お互いに交通安全を起さないよう注意する習慣づけを呼びかけているのである。交通事故は、加害者も被害者も、両方の家庭を破壊することがあることを十分肝に銘ずべきである。総社教のもう一つの重点課題に「豊かな家庭の生活設計」を決めている。戦後経済の高度成長により、西ドイツをしのいで、米ソにつぐ世界第三位の国民総生産高を誇つたことを感謝し、明日の豊かな家庭生活の生活プランを年頭に当りたてていきたい。「初暦めくれば月日流れそむ」

あなたの老後は大丈夫ですか

「国民年金」のしくみと手続き

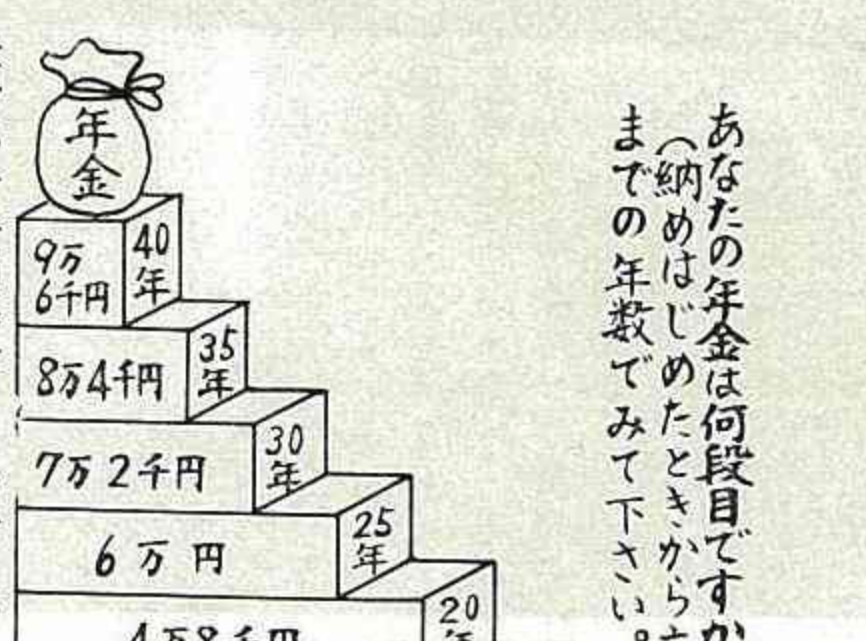
●ふるえる老人・減る労働人口
我が国の人口のうつつり変りは、あと18年もすれば若い人たちの人口にはあまり変化がないのに、老人の人口だけが現在の2倍にふくれ上がることを示しています。若い人たちがほとんど県外に働きに行くために年々県下のほとんどの市町村では人口が減っているのに世帯数は逆に年々増えつづけています。つまり昔のような親子二代で一世帯という家族構成から親子別々の世帯に分かれて暮らす世の中になってきているだけで働くことの出来ない収入のない老人の生活の座はこれからますます不安なものになってきています。昭和39年8月の厚生省の統計によると老人（65才以上）のくらしは

自分の収入で暮らせる人 8.8%
自分の収入で暮らせられない人 91.2%
65才以上の老人で自分だけの収入によって暮らしているのは実に10人のうち3人だけです。年金のことも重大な意義がここにあります。庶民の恩給・自営業者の年金

豊かな幸せな暮らしをすべての人が願っています。昔から軍人や官吏には恩給という生活保障がありましたが、昭和17年から会社や工場に勤めている人たちに厚生年金という年金制度がつけられました。しかし農業や商業・漁業などに勤め自営業者の人たちに老後は不慮の災害の備えは自分の財産だけが頼りでした。そして現実には年をとって子に家業をゆずった多くの老人が子や孫に気がねをしながらくらしをしています。昭和36年にこのような自営業の人たちを対象として国民年金制度がつけられたときこそ「庶民の恩給」だと喜ばれたのも年金だけが生活の安定を支える唯一のものだからです。国民年金がつけられたことによって、現在では20才以上の日本人は必ずどれか一つの年金制度に加入するしくみになっています。すなわち国民年金時代がきたわけなのです。

●老令年金（夫婦12万円年金）
あなたの老後を支える年金としてご主人の厚生年金とご主人の年金と安心しておられる年金か。しかしご主人が亡くなる場合年金はあなたの方ご夫婦の老後保障には

充分ではないとお気づきでしょうか。現在の平均年金額は 95,870円
国民年金 95,870円
厚生年金 257,571円
老令年金 118,133円
などです。これだけの年金で豊かな生活を送ることはできません。昭和44年度には国民年金の大きな改善が行われる予定です。



あなたの年金は何段階ですか
(納めはじめたときから六十才までの年数でみて下さい)

●国民年金加入者で住所が変ったため保険料を納めていない人。又忘れていたりして保険料を納めていない人。
●国民年金加入者でない人。
●厚生年金や船員保険に加入している人

次が該当する人は大きな損をしますからすぐ役場町民課にお知らせ下さい。

- 一、満20才から満57才までの人で次の表のついでにいない人。
- 二、国民年金加入者で住所が変ったため保険料を納めていない人。又忘れていたりして保険料を納めていない人。
- 三、国民年金加入者でない人。
- 四、厚生年金や船員保険に加入している人。

社明作文入選

きれいな明るい町とは、どんな町のことをいうのでしょうか。私はこう思います。

公園の花畑には、花が咲きみだれ、ちり一つなく、ちりすて場所は、いつも清潔。それに、町のみんなが、協力し合い、楽しく働ける町。こういう町が、理想的な町ではないでしょうか。

私達は、こういう町を、作らなければならないと思います。私達の町、長洲は、明るいという点ではできています。この町が、きれいな町になるという目標を、きれいにしたいと思います。

よく、テレビの子どもニュースなどで、きれいな町づくりに協力している子供達のニュースがあります。私達の国語の教科書にも、道路の清さをした子ども達の話がでてきます。私達も、一カ月くらい前から毎週土曜日、部落が、辻と元徳というふうに分かれています。

きれいな明るい町

腹小六の一 池本 厚子



ほとんどよいが、太い、はり金が落ちていました。大工さんがわすれていたのでしょうか。それで、公民館の、そばの、私の家の本家からベンチをかり、工夫をこらして、あげられないようにしました。「もう、はいれない」と思っていました。次のそうじの日、また、よごれていました。私は、たまたまかねて次のようなことを書きました。

ほとんどの空びん、タバコのすいがら、あちらこちらに、たくさん落ちています。ほんとうにしようのない大人達です。はい血があっても、すいがらをちらかしてはくいます。それから飲み物をこぼしてそのままにしておいたり、次のすうじの日、また、よごれていました。私は、たまたまかねて次のようなことを書きました。

みなさんが、こんなふうでは、決して、きれいな明るい町はできません。そのためには、私達は、いっしょうけんめい、公民館の清そにはげたいと思います。

また、私自身としても、たとえ、みんながやめてしまっても、私一人にならうと、続ける決心をしています。

赤い羽根募金運動終わる 不遇の方々に配分

赤い羽根募金については大市の増額割当にもかわらず町内の皆様のご協力により本部割当額を上回る金額を集積することとなりました。直接この募金運動を展開していただきました婦人会の方々、駐在員の方々のご労苦に深く感謝申し上げます。また、ご芳志をお寄せいただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

本部割当額をオーバー

募金団体	募金
腹赤婦人会	65,700
腹赤六栄	57,800
清里	33,660
長洲	90,985
駐在員会	47,369
計	295,514

ご協力まことにありがとうございます。ありがとうございました。

内 訳

赤い羽根募金については大市の増額割当にもかわらず町内の皆様のご協力により本部割当額を上回る金額を集積することとなりました。直接この募金運動を展開していただきました婦人会の方々、駐在員の方々のご労苦に深く感謝申し上げます。また、ご芳志をお寄せいただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

募金団体	募金額	備 考
腹赤婦人会	54,495	白米15斗5升、米斗4合5升
六栄	46,150	米斗3斗、米斗4合1升
清里	24,790	米斗3斗
長洲	70,794	米斗5斗、米斗4合
駐在員会	30,589	米斗1斗、米斗4合
腹赤六栄小学校	9,037	米斗1斗
腹赤一馬殿	4,500	米斗1斗
井上一馬殿	20,000	米斗1斗
福田勉殿	1,000	米斗1斗
同議一会	2,100	米斗1斗
同議一役一	7,566	米斗1斗
同職一	2,000	米斗1斗
同職一	739	米斗1斗
計	273,760	11斗17升、米斗17合

歳末助け合いも目標達成

ポーターラインに配分

歳末助け合い募金も赤い羽根と同様40%増の目標額を設定

したものであります。これも皆様方の善意により立派な目標を達成することができました。二十五日県内各福祉施設にお届けし、二十六日町内の低所得層の世帯二七世帯にお配りいたしました。この配分対象世帯については民生委員の方々の意見に

長小図書館に寄贈

寄贈されました。

寄贈内容は次の通り

- 一、日本歴史シリーズ
- 二、世界の美
- 三、俳句大歳時記
- 四、その他
- 五、その他

時価にすれば七万円余り

対象者	現金	白米
六栄小学校	9,940	
腹赤	4,905	
生活保護者	142世帯	287升
要保護者	360名	
児童	22,260	
福祉施設	75世帯	
児童	253名	165.75升
児童	91,950	
児童	17名	
児童	8,500	
児童	20名	
児童	10,000	
児童	68名	
児童	34,000	
計	718名	(90,550円相当) 11斗17升
計	181,555	
計	272,105	
差引	1,655円	
残額	270,450円	

総社教研究集会

有意義に終る

もつとほしい各種機関団体の協力

明るい町づくりと、その振興開発を目的として、長洲町に総合社会教育推進協議会が設置され、昭和四十年十月に発足を見て現在に至っているが、その間いろいろの曲折はあったとしても町内の方々の、深いご理解と、ご協力によって、その成果は徐々に向上しつゝあります。特に本年度は、長洲町が県の協力町として委嘱され、去る十二月十七日には長洲町を会場にして、玉名郡公民館連合会、玉名市・荒尾市公民館、長洲町総合社会教育推進協議会、長洲町教育委員会、熊本県総合社会教育推進協議会、熊本県教育委員会の主催で、玉名荒尾地区の総合

郷土の遺跡を訪ねて

長洲町の古事記

「旧事記」と作者馬場十助

今から二百五十年前の明和元年に生れた馬場十助氏が、その子孫に書き残された「旧事記」を前号に引き続き紹介する。

- ◎旧事記◎
一、元文二丁巳年(一七三七年)
(十二月二十四日、戌半刻より子半刻迄出火、上今町東手丁丁まで表口家に十軒程焼失。
一、元文四己未年(一七三九年)
長洲御山之内、東平へ松植る。
一、松平吉十郎様寛延二己巳年(一七四九年)夏肥前島原より下野国宇都宮へ御所替被為蒙仰候。御家中様者己の九月より午の春まで御引越なされ候。
一、宝永二酉年(一七一五年)
(春)居宅建。
一、宝曆九巳子年(一七五九年)
(正月三日、亥上刻より丑半刻迄出火、上今町西平、上本町まで表口家四十軒程焼失。この時私宅も焼失申候。
一、宝曆十庚午年(一七六〇年)
(二月十七日、居宅建。
棟梁 清源寺村 彦三郎
同 村 伊三次

読書感想文

最優秀賞に 武野弘子さん

さきに児童館で募集しました読書感想文の審査の結果、最優秀賞に武野弘子さん(清里小六年)が選ばれました。応募作品四十五点の審査をされた審査員の一致した意見として「よく本を読んでいる、読後何かを自分のものにしていく、すばらしい!!と絶賛のおほめ



武野弘子

この物語は、もとの名を「レ・ミゼラブル」といいます。「世の中のつめたさにひしがれた、みじめな人々」という意味で、わが国では「あゝ無情」という名で、明治時代からひろく読まれてきた本だそうです。この物語は、十九年もの長い間、けいむ所にはいつても、ジャン・バルジャンというあわれな人が、どんな苦しみもつらさを、幸福をつかんだというのを、中心にかかれたものです。フランスのあるいなか町を、さびしそうなあわれな旅人が、そうとうつかれたようすで歩いています。このあわれな旅人こ

そ、その本の主人公、ジャン・バルジャンは、元は、まじめでたいそうびんぼうなおおじさんで、他人の子供があつたので、働いても働いてもこんな大ぜいの子供におなかいっぱい食べさせることが出来ず、ある日とうとうパン屋の店からパンをぬすもうとしたところを見られて、けいむ所に入られたのです。けいむ所に入られたので、供やおかみさんたちのことを、心配して、二、三、にげだそうとしたのです。そのため軽い罪からたいへん重い罪人になられたのです。このジャン・バルジャンも、そうとうつらい思いをしてきた人だなあ。まじめな人たちが、くらしが苦しくなると、こんなことになるのかと残念に思いました。でもジャン・バルジャンの場合ははかたな一つの方法だったのだらうと思えました。でも幸い、ミリエール神父さまというやさしい人にすくわれたのです。ここでやっと親切にされた、やさしい神父さまに、はげまされて別れたので

力と予算について

三、末端浸透の徹底について
の三つの課題にわたって討議がかさねられたが各市町とも、この問題に取り組みないやみやみや開店休業の姿に進めない苦しみなど、異口同音に必要性をときながらも、あまりにも多くの問題をかゝえて具体化され得ない実状を知る事ができた。幸い長洲町は軌道にのりかかっている

御奉行

九月二十六日
玉名御郡代中
御奉行
蘇生の者之儀に付而、御連之趣写之巻通差越候条、被得其意下方不洩様 可有御達候 寺社御家人中へは手永限是又不洩様可有候以上
九月二十七日
玉名御郡代中
玉名御惣庄屋中

入選

- 最優秀 武野弘子 清小六年
優秀 池本厚子 腹小六年
秀 池本厚子 腹小六年
秀 松野ちか子 腹小五年
秀 ガラスのくつ 腹小四年
秀 菅原真理子 腹小四年
入賞 浦田三保彦 腹小五年
西林 隆 腹小六年
馬場泰子 清小四年
不破智子 清小四年
前田祐子 長小六年
野村孝子 長小四年
浜田玲子 腹小四年
高田光一 長小五年
紙面の都合上選外賞は省略します。(浜崎)

記

一、修繕料 工事終了と同時に料金を徴収します。
二、再開検手数料 申込書提出と同時に徴収致します。
長洲町水道課長 池上 文 人



給水装置の修繕料及び再開検料金についてのお知らせ

従来水道装置の修繕料及再開検手数料については、工事終了後翌月の水道料金告知書と同時に発行し徴収を行っておりましたが、事務整理上来る一月以降の取扱に対しては、次のように致しましたのでお知らせします。
一、修繕料 工事終了と同時に料金を徴収します。
二、再開検手数料 申込書提出と同時に徴収致します。
長洲町水道課長 池上 文 人

町内の多くの方から生活課題を提起していただき、それを軸として総合社会教育の課題を設定し解決して行くことが必要ではなからうか、いわゆる人間形成も社会形成も生活課題の解決が中心でなくてはならない。この研究集会有意義な成果を残して終わったことを地元公民館として喜んで居る。(徳永)

八代不知火の起りもこの時といえり。
一、四王子宮祀り奉りしはじめを楡垣の集の齋をもつて時代を考へれば、長洲への住みはじめは以前よりと見えたり。長洲への住みはじめは永暦年中とあり。
一、天明二年壬寅年九月
御奉行よりの御書付ならびに御郡代中より御蠲の添書左の通り。
病死の者二日二夜の内によみがえり候者稀に有之事に候。既に今度合志郡久米村の者五十四歳の男大病相煩候。先月晦日の晩病死したし、翌朝日の夜葬候節に至りよみがえり、追々暖葉にて弥蘇生相成候。然処に當時下方の風俗にて病死の者早速不取置候得者、其家者不及申、脇々より不埒の様に相唱之候に、しきりに差急候儀。
甚心得違の事に候條、以来取置不差急、時刻考奉候様、可示置事。
九月二十六日
御奉行
玉名御郡代中
蘇生の者之儀に付而、御連之趣写之巻通差越候条、被得其意下方不洩様 可有御達候 寺社御家人中へは手永限是又不洩様可有候以上
九月二十七日
玉名御郡代中
玉名御惣庄屋中

一、宝曆八戌亥年(一七五八年)
(秋)作よろしからず、翌子の春三斗七升入米老儀代貳貳貳貳文程、難儀に比し高値なり、享保十七壬子年(一七三二年)大虫腐より二十五年目なり。
一、明和六巳丑年(一七六九年)
秋作よろしからず、翌年の春穀類高値なり。宝曆八戌亥年(一七五八年)より十五年目なり。
一、天明二壬寅年夏より秋迄雨繁く虫病もあり大風三度吹、田畠とも実少なく、翌卯の三月頃より七月迄穀類次第に高値になりぬ、よって値段左に置きぬ。
一、米老儀 代貳貳八百七十文より三貫四百三十文迄 三斗七升入
一、太米老儀 代貳貳五百九十文より貳貳貳貳貳貳文迄 三斗七升入
一、大老儀 代貳貳四百七十文より貳貳貳貳貳貳文迄 三斗七升入
一、はだか老儀 代貳貳八百五十五文より貳貳貳貳貳貳文迄 三斗七升入
右の値段卵の麦作実少なきゆえ、夏中穀類高値なり。それ過ぎ秋収納前に至り、少々下値になりぬ。然れども穀類多事なし。
一、大豆老儀、代貳貳八百二十

社会体育に積極的な参加を

明るい家庭は健康から

社会体育、それは、学校教育をのぞく一般社会人に対していつも公民館がその実施に頭をなやましていく問題である。一般社会人の体育保健の向上をはかるのは、実は個々の大きな課題でもなく、生活環境のアンバランスによって無意識の内に、おろそかにされた自分の生命をちぢめていく傾向があるのではなからうか。

いろいろな反省会の席上で、よくつかわれる言葉の中に、「、さえていたら」という言葉をよく耳にする。つまり、もしもやり方を変えてさえていたら、あの時手をさしたのさえたなら、等々、ニューヨークの耳鼻科医、サミュエル・ロゼン博士は、スーダンに住んでいてもマバン族が七十才になっても十七才のアメリカ人と同じぐらいの鋭敏な聴覚をもっている事に気づき、その原因の一つとして、スーダン人は低い声で話し耳ざわりになるような大声を出さない事をあげている。日頃の訓練(この場合は生活環境)がそれだけの能力をそなえる結果になっているのである。このような聴覚だけではなく、年をとるに従って起ってくる問題やいわゆる老化現象はいろいろ

ろな分野から検討する必要があるがそれは専門家にまかせるとしてある領域(この場合社会体育)をルース・ウィタールの言葉から見てみると、運動は老化の防止に役立っているといえる。大体三十才ころから体力を要するようになることには興味を失ったが、それが能力も低下する中年の運動選手と以前運動選手だった人々とを比べて仕事をすると人々などの比較的研究により、と活発な運動を続ける事によって防げるものが明らかになったと言っている。われわれはその専門家ではないまでも生活の中にリズムをもたせなければならぬ。市民館はそのような意味で社会体育の機会と環境づくりに努めており、年々過疎になって行く感じがする。町内の方々の理解をおねがいしたい。

※町内卓球大会要項
とき、二月九日(日)
チーム編成、校区単位、A、B
以下は(一般)補欠二名、監督(責任者)一名、計八名
コース
一区 公民館前→建浜三叉路
二区 建浜三叉路→向野
三区 向野→腹赤新町
四区 腹赤新町→港屋横
五区 港屋横→公民館前
その他
(1)事故防止のため、伴走を禁止する。もし伴走した場合は審判により失格とする。
(2)本大会中に事故発生した時、その所属チームの責任とする。
※町内ソフトボール大会要項
とき、三月上旬(予定)
ところ、長洲中学校運動場
チーム編成、校区単位
四十才以上の部(四十才以上が六名まで、五十才以上は三名以上であらば何名でもよい。補欠は五名)A、Bチーム参加出来る。三十九才以下の部(青年団員五名但し高校生をのぞく。二十五才以上三十四才まで三名以上、三十五才以上三十九才まで一名以上補欠五名)A、Bチーム参加出来る。

たばこはぜひ郷土の店で

財政収入に大きく影響

私達が何気なくすすっている「たばこ」代は、どこにどのように配分されているのでしょうか。
たばこ店をおとって専売公社にはいったお金は、先ず、たばこ消費税として私達の住む長洲町へ納められます。
一部分は、県の財政収入として熊本県へ
一部分は販売手数料としてたばこ店へ
また一部分は専売益金として国の収入となっています。
いま60円のおかばを買えば、60円の内10円86銭が自動的に私達の住む町へ納められ、毎月専売公社から町へ納められます。
たばこは「年末年始のおくりもの」として「親しさをつなぐ手軽なおくりもの」として町民の皆様に大変喜ばれていますが、同時に町の財政収入確保に大変貢献をしてくれています。
昭和四十二年度中に町へ納められた消費税は、一千一百万円の巨額に達しましたが、更に本年は一千二百万円を予定。

そこで町では、財政収入をいくらかでも多く確保するために「たばこは長洲町のたばこ店で買いましょ」と
「おくりものは手軽なたばこを」と町内の皆様に呼びかけているのです。
私達の住む長洲町を明るく住みよくするために、ご購答品に「たばこ」を選んで下さい。このことをお願いいたします。
隊の運営については、まだまだ多くの問題があるが、リーダー及び家庭の相互理解と、協力によって、より発展を遂げるように期待するものである。

県知事表彰

県子供会大会
梅田子ども会受賞

第六回県子ども会大会が去る十一月二十三日日本橋市で開かれました。

県下から約二千五百人の子供会員が参加、市中央パレードの後新装された市民会館の会場内に入場、本渡南小の器楽演奏で開幕、力強く子供会の歌を合唱、郷土色豊かなゲーム、徒手体操が続く終始なごやかな雰囲気の中で子供会の表彰式が挙行、玉名郡の子供会を代表したといたただ一ツ、長洲町梅田子ども会が、その名を紹介された時、ひととき拍手を高く送られる。この名を高く送られたのは一重に長洲町子ども会全体の組織の充



花束を受ける梅田子ども会

この感動!!じつと会場の一隅で見つめる世話人の小俣あや子さん。そして菊川会長以

※町内卓球大会要項

とき、二月下旬(予定)
ところ、長洲中学校体育館
チーム編成、校区単位で一チーム(選手九名、補欠五名、監督一名、マネージャー一名、計十六名)

※町内ソフトボール大会要項

とき、三月上旬(予定)
ところ、長洲中学校運動場
チーム編成、校区単位
四十才以上の部(四十才以上が六名まで、五十才以上は三名以上であらば何名でもよい。補欠は五名)A、Bチーム参加出来る。三十九才以下の部(青年団員五名但し高校生をのぞく。二十五才以上三十四才まで三名以上、三十五才以上三十九才まで一名以上補欠五名)A、Bチーム参加出来る。

実を物語るものであろうと思つた。
代表出席者西山君の手に表彰状が授けられた。そしてキリスト、マリヤに扮した少女から、バラ一輪を胸につけてもらい会場一杯わんぱかりの拍手を受ける。

下本部役員...
この表彰は、過去五年間の活動状況、目的の達成に努力されたその功績に對してのものである。前世話人の西山君の努力は目を見張るものがあった、冬のベニスサッカー、駅伝大会、又、夏のソフト大会...等劇的な試合はこび、花いっぱい運動の展開等...。しかしこれに留まらず今年、梅田町民の墓地跡の開拓、梅田子供会の文化、体育共同の花が咲き乱れる事を思う時一杯の拍手を送る。

こうして長洲町子供会は第一回目の東荒神町子供会が受賞以来連続六回目の表彰を受けます。ここに町民の皆さんに公表し尚一層のご協力をお願いいたします。

新生委員の紹介

心配ごと相談は
毎週水曜日

- | | |
|--------|---------|
| ○松本 末男 | 新山・上松・下 |
| 高野四郎八 | 磯町全区 |
| 楠山 武喜 | 中今・下今・下 |
| 木村 イツ | 宝町全区 |
| 大久保勝義 | 中町・下本町 |
| 新開久美子 | 出町・新町・上 |
| 太田 房子 | 今上東 |
| 西林 好 | 大明神・東荒・ |
| 馬場 放逸 | 西荒 |
| 松下 秀子 | 腹赤・腹赤新町 |
| 酒井 春男 | 清源寺 |
| 小井手 栄光 | 上沖洲 |
| 吉田 澄子 | 永塩地区 |
| 坂本 芽生 | 宮崎・立野 |
| 藤本 サダ | 折地・赤崎 |
| 土山 豊年 | 梅田・駅通 |
| 前田 トシコ | 建浜 |
- (◎は総務、○は副総務。)

学童よい歯のコンクール

長洲一決る

- 長洲町教育委員会主催の第二回町内学童よい歯のコンクールは去る十一月三十日児童館で行われたが、町内六校より優秀者として推された十九名の学童が参加、添島審査委員、山本、山本、嶋田、添島各審査委員の厳選の結果次の通り最優秀者が決定した。
- | | |
|-----------|---------------|
| 小学校 低学年の部 | 一位 坂本 光代 六栄六年 |
| | 二位 松林サナエ 長洲六年 |
| | 三位 城戸 茂樹 清里六年 |
| 中学校の部 | 一位 中島 征志 腹赤三年 |
| | 二位 平川 恵子 長洲三年 |
| | 三位 益子 往枝 長洲一年 |

「入賞おめでとう」

明正選挙作文入選

昭和四十二年十二月四日県庁で行なわれた熊本県明正選挙推進大会において、腹赤中三年、高田明子さんが、九月二十日熊本県明正選挙推進協議会、熊本県選挙管理委員会が行なった明正選挙作文の募集に応募入選表彰を受けた。

作文募集に御協力下さいました応募者始め諸先生方に厚くお礼申し上げます。

尚既報の明るく正しい選挙ポスター募集において入選された腹赤小三年 西原てるよさん、同校六年 浜津久美子さんも同じ席上において表彰を受けた。(高田明子さん)



年少隊メンバー

昭和四十三年十月二十六日、ボイススクウト、長洲第一団年少隊が発足した。
長洲町におけるスカウト運動は、発足以来次第に成長を上げガールスカウト、シニアスカウト班ができて、その形態をととのえてきたが、年少隊(カブスカウト)の発足がなかなか困難であったが、団委員会に於いて隊長の選任も終り、隊員の募集の結果、十五名の少年が入隊することとなり、発足を見たわけである。

長洲第一団年少隊の発足

社協の善意

銀行へ預託

左記の方より、長洲町社会福祉協議会事業資金として多額のご寄附を頂きました。
○銀本勢野殿死亡による香典返しを御本勢野殿より(新山)
○吉原正一殿死亡による香典返しを吉原正一殿より(中町)
○山本積雄殿死亡による香典返しを山本積雄殿より(上沖洲)
○片山恒明殿死亡による香典返しを片山恒明殿より(駅通)
○梅崎貴次郎殿死亡による香典返しを梅崎貴次郎殿より(中町)
○福田三代次殿死亡による香典返しを福田三代次郎殿より(駅通)
○園田博殿死亡による香典返しを園田博殿より(出町)
○久保タカノ殿死亡による香典返しを久保吉殿より(下岡町)
○松下ユミ殿死亡による香典返しを松下松男殿より(上沖洲)
○宮田国輔殿死亡による香典返しを宮田保輔殿より(西新町)
○清田松次殿死亡による香典返しを清田松次殿より(下本町)
○川本繁殿死亡による香典返しを川本定殿より(西新町)
○松野太治殿死亡による香典返しを松野栄治殿より(下磯町)
○前田実殿死亡による香典返しを前田ハツ子殿より(宮崎)
○吉村シマ殿死亡による香典返しを吉村一成殿より(西新町)
○村上シノブ殿死亡による香典返しを村上一郎殿より(清源寺)
○木下重之殿死亡による香典返しを木下重之殿より(梅田)

更生保護

協議会へ寄贈

家庭教育学級に多数のご出席を

文部省委嘱の家庭教育学級に登録されている学級生の方は、一月から三月まで、毎月二回ずつ位行ないますので、ご出席下さいますようお願いいたします。

編集後記

輝かしき新年をお迎えになられおめでとうございます。一年の計は元旦にありと申しますが、計画はたてられませんでしたか?
日進月歩の世相の中、私達は何げなく平凡に毎日を消化しておりますが、何か目標を樹立してまい進するのは非常に味があるのです。
又、今日の計は朝にあり、一刻千金の計は日の中にあり、一刻千金の計画性を養成し、リズムな毎を送らないうようにしましょう。(きと)